

言語・文学委員会（第24期・第7回）

議事録

1. 会議名 言語・文学委員会（第24期・第7回）
2. 日時 令和元年12月4日（水）15時00分～16時30分
3. 会場 東京大学本郷キャンパス・法文二号館3階、第三会議室
（文京区本郷7-3-1）
4. 出席者 木部暢子、原田範行、吉田和彦、渡部泰明

5. 議事概要

（1）前回議事録要旨の確認

令和元年10月16日（水）に開催された第6回言語・文学委員会の議事録を確認した。

（2）各分科会活動の今後の活動予定について（予算を含む）

本年度中の分科会の活動は、古典文化と言語分科会が2回、文化の邂逅と言語、科学と日本語、人文学の国際化と日本語の各分科会がそれぞれ1回の会議を予定していること、および予定のとおり会議が開催されれば、言語・文学委員会の割り当て予算に対して、赤字となる目算であることが、木部委員長より報告された。

（3）第24期の意思の表出について

文化の邂逅と言語分科会の提出した提言は、英語民間試験導入の延期等、大学入試に関する文部科学省の方針転換があったために、内容に修正を加えて、今期中に改めて提出予定であること、古典文化と言語分科会の提言は1月提出予定であること、それ以外の2分科会は今年度中の意思の表出の予定はないことが報告された。

（4）その他

・会員及び連携会員の半数改選について

木部委員長より、会員・連携会員の半数改選について、推薦依頼書に沿って説明があり、言語・文学会員からも連携会員に推薦依頼の連絡をすることとなった。